

## 今日はたんぼが教室です

草野・飯樋・白石小学校の田植え体験



よかつタネ!



[特集]

村内店舗情報 一歩一歩 暮らしを取り戻していこう

いいたて四季彩景 ● 飯館復興の桜

會田征男さん（伊丹沢）宅の周辺に広がる「飯館復興の桜」。約3,000本が咲き誇る



大内亮さん（八木沢・苜原）が4月末にドローンで撮影

CONTENTS 目次

- 3 特集1 村内店舗情報
- 6 特集2 社会福祉協議会の「つなぐ力」
- 10 復興を歩む 学校等再開整備事業
- 12 平成30年度飯館村職員候補者採用試験
- 13 小学生 田植え体験 / 百歳賀寿
- 14 いいたて便り
- 16 つながるアルバム
- 18 おしらせ
- 19 入札結果
- 20 ひとかたるものがたり / 堀先生相談室
- 21 こころのぼけっと / ひとのうごき
- 22 フォトストーリー いいたてっ子運動会
- 24 ホープス / 編集後記

高野森夫さん(関沢)が福島市に借りている水田で、小学校の子どもたちが、田植えを体験しました。詳しくはP13の記事で。



●表紙のおはなし●

村内店舗情報

一步一步  
暮らしを  
取り戻していこう

3月末の避難指示解除を受けて、帰村する世帯、帰村の準備を進める世帯が、少しずつ増えています。また、村内の企業で働く皆さんや、復興事業に携わる方々など、多くの人が日中を村内で過ごしています。そうした中、村内で買い物や食事ができる店舗は非常に限られているのが現状で、村や商工会が、協力して対策に取り組んでいます。一方、帰村した人の暮らしを支えようと村内で再開する店舗や、村の要請を受けて買い物支援に乗り出した企業もあります。現在の動きや取り組みをお知らせします。

県北地方でスーパー「ファンズ」を展開する(株)運喜(川俣町／菅野好次社長)の移動スーパーが、4月から試験的に村内を巡回しています。同社は昨年、「昔から来てくれていた地域のお客様の帰還の手助けになれば」と、国の補助金を活用して移動販売用のトラックを新調。川俣町山木屋地区で運行を始めていました。村内での巡回は、村の要望を受けてスタートしたもので、今後はアンケートなどで具体的なニーズをとらえ、巡回ルートに工夫を重ねていきます。

生鮮食品から日用品まで  
ファンズ 移動スーパー

ファンズ川俣店 ☎024(565)2424



せっかく  
来てくれるのだから  
利用したいよね

ありがたいなあ  
思います



こんな車です!

関根・松塚集会所は月曜日が巡回日。移動スーパー事業を担当するのは、ファンズ川俣店の蓮尾啓司(けいじ)さん(写真後方)です。「キノコと一緒に何を煮ようかな」「お肉はどうですか」と気軽な会話が交わされます。移動スーパーには、生鮮食品から冷凍食品、日用品までがコンパクトに収められていて、品数の多さにびっくりします。「ほしい物があれば翌週持ってくることもできますよ」

# 変わらない味で待っています 手打ちうどん ゑびす庵

村の老舗「手打ちうどん ゑびす庵」。平成23年の震災時は、村役場が飯野出張所に移転する6月下旬まで村内で営業。避難後は福島市で再開し、村内外の人に愛されてきました。そのゑびす庵が今年、避難先の店をたたみ、避難指示解除からひと月を待たずに、村内での営業を再開しました。「いこいの場にした」という高橋義治さん、ちよ子さん夫婦（飯樋町）を、息子の均さんが支えます。「足を運んでくれる人に、感謝です」。営業時間は午前11時から午後3時。火曜定休。夜の営業は予約のみ。  
☎0244(43)2018



顔なじみの村民にまじって、村内で働く人も次々に来店するお昼時。新聞やテレビで再開を知ったと県外から訪れる人もあるそう。ちよ子さんの笑顔もうどんの味も皆にやさしい

## 再開情報を共有しましょう！

再開している業種の一部を紹介します

- 金融** 二枚橋郵便局  
そうま農業協同組合 飯館総合支店  
あぶくま信用金庫 飯館支店
- 医療** いいたてクリニック（火・木曜日）
- GS** 北原商店  
荒木屋  
マックスサービスそうま 飯館給油所

- 食品日用品** セブンイレブン 飯館村仮設店舗店  
コープふくしま南センター（宅配）  
ファンズ 移動スーパー（移動販売）

- 飲食店** 手打ちうどんの店 ゑびす庵

- その他** 宿泊体験館「きこり」（入浴・宿泊）  
他にも、理美容店、食品加工所、自動車販売・修理工場、工務店、電気工事店などの業種で再開している店舗があります。

村と商工会では、共同店舗の整備にも取り組んでいます。詳細は決まり次第お知らせします。出店ご希望の方は、左記までご連絡ください。

被災した中小事業所の事業再開や、新規事業への投資を補助する「福島県原子力被災事業者事業再開等支援補助金」の申請受け付けが継続されています。営業再開を考えている方は、村または村商工会にぜひご一報ください。また、連携をもって全村的な活性化が図れるよう、すでに再開した方もぜひお知らせください。

- 復興対策課商工労政係 ☎0244-42-1620
- 飯館村商工会 ☎0244-26-7957

平成2年開業の美容室「パーマはうす 髪化粧」を、4月から本格的に再開させた美容師の菅野真由美さん（草野）。「避難先で再開を考えた時期もありましたが、避難中も利用してくれたお客様を信じる気持ちで再開しました。前のようにはいかなくとも、自分の生きがいでもあるし、もう一回がんばりたい」と。村内企業に勤務する人が、仕事帰りに利用することも。「もちろん新規のお客様も大歓迎です」。現在は不定休のため、事前の予約がおすすめです。

☎0244(42)0904  
☎090(7525)7807



佐藤竹代さん（関根・松塚）の髪をカットし、ていねいに仕上げながら談笑する菅野さん。「孫は生まれた時からですよ。成人式の着付けでもお世話になりました」と佐藤さん

## 人とのつながりを大切に パーマはうす 髪化粧



## いいたて村の道の駅までい館

「いいたて村の道の駅までい館」は、8月のグランドオープンに向けて、建設工事が進められています。この道の駅には、コンビニエンスストアが入る予定で、野菜や加工食品の直売コーナー、軽食コーナー、花きの展示販売スペースなども設けられます。道の駅としての機能に加えて、村内の買い物場所として利用されることも想定し、生活必需品の販売なども行います。



広報記者の取材メモから

### 「いらっしやい」 「またこれうれしいよ」

婦村や一時帰宅で村内の店舗を利用する人と、それぞれの店との間には、互いを思いやり気遣う「きずな」があり、それが再開や生活再建の原動力になっていると感じました。現在も、交流やにぎわいの創出につながればと、再開に向けて準備をしている店舗があります。道の駅

に出品しようと、農業をがんばる人もあります。避難中も村内企業を支えて通勤してきた人たちの存在も忘れることはできません。購買環境の課題を解決していくには、店舗・事業所と利用者が声を出し合い、何が必要かを皆で一緒に考えていくことが大切なのではないでしょうか。なりわいと暮らしを再生する道のりは、まだ始まったばかり。工夫をこらし、一歩一歩、着実に取り組んでいきましょう。

肩をもち合い、楽しみながら腕や肩の運動です。他にも村内を写したスライドショーを見たり、歌に声を合わせたり、心ななむひとときでした



普段から村内と避難先とで訪問活動を行う生活相談員（写真右）。会話をしながら、参加者の健康状態や日常生活のようすにも目を配ります



村内で開催されたお茶飲み会に約50人が参加しました。記念撮影前のひとこま

## 村民の活力を引き出したい

村の人は、何でも自分たちでやってきました。それが、避難の暮らしの中では、どうしても受け身にならざるを得なかった。しかしこれからは違います。「自分たちでやってきた」ことを思い出し、震災前のプライドを取り戻していただきたい。いきいきした、笑顔あふれる暮らしができるようにしたい。

そのような気持ちで、「村民が主役」の企画を考えていきたいと思っています。また、お互い様で支え合ってきた村民同士のつながりも、ますます大事にしたいです。

一方で、村外からの応援や交流は、村の人の大きな励み。受け入れができる体制を整えていきたいです。

飯舘村社会福祉協議会  
小林浩二事務局長

るさとへの思いや避難の苦労を語り合い、笑い話や昔話にも花を咲かせます。村社協では、今年、村内と避難先の両方で、「お茶のみ会」を開いていきます。「最高だな」「来てみてよかったです」。やさしい春の風が、楽しい笑い声を揺らしていました。

5月9日、交流センター「ふれ愛館」の前に、すがすがしい笑顔があふれていました。飯舘村社会福祉協議会（以下「村社協」）が主催する交流事業「お茶のみ会」が、村内で開催され、その記念撮影が行われていたのです。村内で開く「お茶のみ会」には、帰村した人ばかりではなく、避難先からも自由に参加することが出来ます。「村の中では、来てみたよ。避難先では参加したことがなくて、初めて顔を出すんだ」と話す参加者もいました。「村の中だから、自分で運転して来れるのよ」と話すお年寄りもいました。

全村避難の中、福島市や南相馬市などで会場を借り、月2回のペースで開いてきた「お茶のみ会」は、離ればなれになった村民が集う場として定着し、多くの人が継続して参加してきました。毎回、園芸療法や音楽療法、健康講話など、工夫をこらしたプログラムも用意。参加者は、活動を共に楽しみながら、ふ

一人ひとりに寄り添いたい  
飯舘村社会福祉協議会の「つなぐ力」

力になれたらうれしい...来てくれてありがとう



草刈り作業に訪れた北山梅子さんの自宅前で

NTT労働組合  
ドコモ本部



社会福祉協議会

## 村社協は、支援者と村民をつなぐ架け橋でもあります

NTT労働組合ドコモ本部による支援活動が、5月から6月の連続7週にわたり、村内で展開されています。全国の組合員有志が、毎週木曜日にいわき駅に集合。金・土曜日に、事前に希望を受け付けた村民の自宅の草刈りなどを行っています。

活動の初日、5月11日には、宿泊体験館「きこり」で結団式があり、執行委員長の高橋聡さんが「若い力を活かして、村の皆さんの帰還を円滑にするお手伝いができればと思う。長く地道に取り組んでいきたい」とあいさつしました。同組合と村社協をつないだ認定NPO法人BHNテレコム支援協議会の理事・吉岡義博さんは「村に帰るお手伝いができるようになり感慨深い。復興を見届けるまで支援を続けたい」と震災直後から続く支援を振り返りました。

被災以降、多くの方からいただいた数え切れないほどの支援や応援。いつか「お互いさま」を返せるよう、日々の「一歩一歩」を大切にしていきたいですね。

こんなに大勢の人に  
来てもらって、  
いやあ、うれしいよ



北山梅子さん(右)は自宅の草刈りを一緒に行いました。左は父親の初美さん(飯樋町)



結団式の日、食事を提供した渡邊とみ子さん(写真右端/前田・八和木)が、語り部としても交流

村民  
ボランティア  
X

社会福祉協議会

仲間と一緒に  
活動しています

お茶のみ会は、  
花の情報が得られて  
有意義だったよ



菅野昌基さん・トシ子さん夫婦(宮内)は、阿部ミチルさん(写真右/宮内)の送迎でお茶のみ会に参加しました

前のページで紹介した「お茶のみ会」には、「地域お助け合い事業」の送迎を利用して来場した方もいました。この事業は、高齢者のみの世帯や日中独居の高齢者、身体に障害を持つ方などを対象に、送迎や片付け、草刈りや雪かきなどの家事支援を行うもの。サービス(支援活動)の担い手も、村社協に登録した村民です。サービスを受けた人も、あらかじめ利用登録をして、利用時に1回300円を支払います。「お互い様」の共助の心を大切にした取り組みなのです。※「地域お助け合い事業」や「お茶飲み会」の送迎については、村社協までお問い合わせ

## 「お互いさま」をつなぐ力

せくください。【村社協 ☎0244(42)1021】

村社協では他にも、民生委員や児童委員、赤十字奉仕団、各ボランティアサークルと協力し、連携した事業を行っています。

また、老人クラブ連合会はじめ、高齢者の活動にも協力しています。老人クラブ連合会は、多くの活動を継続して、避難中のコミュニティの維持や、会員の健康増進に貢献してきました。さらに、子どもたちに昔遊びや年中行事を伝える「シニアサポーター事業(平成28年度実施)」などでは、高齢者の皆さんに、地域福祉活動の担い手として、活躍していただいています。

飯舘村  
老人クラブ  
X

社会福祉協議会



老人クラブ連合会の総会も今年は村内で開催(5月1日)

# 復興を歩む

vol.26

教育プログラムの充実と  
学校等再開整備事業の推進

村は、民間学習塾「花まる学習会」(本部・埼玉県さいたま市)の協力を得て、小学校と中学校で、思考力を高める特別授業を行っています。「花まる学習会」は、将来メシが食える魅力的な大人を育てる学習塾として、その指導法が注目を集めています。

この4月からは、「花まる学習会」の社員で、進学校で数学を教えた経験も持つ会田完三先生が、飯館中学校に常駐しています。小学校では、計算や音読を通して集中力や積極性を養う「花まるタイム」を、中学校では、思考力を高める数学の授業をスタートしています。この夏からは、中学校で「放課後塾」も始まります。

村では、こうした学力向上への取り組みを行う一方で、「木育」「読育」「食育」「笑育」「花育」などの教育法を、幼少期から幅広く取り入れ、人間性を豊かに育む「心の教育」にも力を入れていきます。

また、「飯館村学校等再開整備事業」「飯館村スポーツ公園整備事業」で、学校等の村内再開に向けた、ハード面の整備も進めています。

学校等再開整備事業は、飯館中学校の敷地内に、幼稚園・保育所の機能を併せ持つ「認定こども園」、一貫教育を行う小・中学校、さらには給食センター(食育プラザ)などを整備する事業です。増改築される校舎は、豊かな学びの場として、さまざまな工夫をこらした建物に生まれ変わります。また、認定こども園の園舎、屋内プール、小学生用体育館などは新たに建設します。校舎園舎が囲む前庭には、ビオトープ(身近な生き物の生態系を観察できる環境モデル)も作られます。

もう一方の、スポーツ公園整備事業は、中学校に隣接する陸上競技場や野球場などスポーツ公園の設備を拡充して整備する事業。テニスコートを備えた屋内運動場を新設する他、芝生の広場や園内の通路なども整備し、公園としての機能も充実させます。

復興事業の二環として施設整備を行い、将来の活用の広がりまで見据えて教育環境をつくっていきます。

※施設や教育内容の詳細は改めてお知らせいたします



5月15日に飯館中学校で行われた数学の授業。この日の講師は、「花まる学習会」と提携する栄光学園(神奈川県)の井本陽久(はるひさ)先生(写真中央)です。生徒たちは、手がかりとなる図形や事象の規則性について友達と話し合い、課題に挑戦して思考力を磨きました。



農業を学ぶ。小学生 田植え体験



▲全校児童での田植え体験は、震災後初めてです

5月9日、草野・飯樋・白石小学校に通う全校児童が、高野森夫さん（関沢）が福島市内に借りている水田で田植えを行いました。

当日は、天気にも恵まれ、ボランティアで参加した村民らと手植えによる田植えを体験。子どもたちは、泥だらけになりながら、満面の笑みを見せていました。志賀遥奈さん（飯樋小6年）は「今回の体験をきっかけに、村の農業について勉強してもっと知りたいと思います」と感想を話しました。

▲青空の下で、農業を体験した児童たち

100歳は、通過点！  
村で過ごしてイキイキ



高橋スギノさん（関根・松塚）

100歳賀寿



▲県からのお祝いを受け取るスギノさん(右)

5月20日、高橋スギノさん（関根・松塚）が100歳を迎えられ、村内のご自宅で賀寿のお祝いが行われました。

この日は、福島県、村、村社会福祉協議会などが祝い品を贈りました。スギノさんは現在、村内のご自宅で生活をしており新聞は毎日、本もよく読んでいます。息子の日出夫さんは「気ままな性格が、長生きで元気でいられる秘訣かな」と笑顔を見せていました。



スギノさんを囲むご家族の皆さん

飯舘村で、  
あなたの力を発揮しませんか。

平成30年度飯舘村職員募集のお知らせ

平成30年度飯舘村職員（大学卒程度）採用候補者試験を次により行います。



採用職種	一般事務（大学卒程度）
採用人数	若干名
受験資格	昭和47年4月2日から 平成8年4月1日までに生まれた者
試験方法及び内容	第1次試験 教養試験及び適性検査 (択一式による筆記試験) 第2次試験 面接及び小論文等
第1次試験	試験日 7月23日(日) 受付 9:00～9:30 教養試験 10:00～12:00 適性検査 13:00～14:00
試験場所	福島大学 福島市金谷川1番地

◆発表 … 平成29年8月下旬(予定)に村役場掲示場に合格者受験番号を掲示するほか合否について通知。

※第2次試験の詳細は第1次試験合格者へ通知（平成29年11月上旬実施予定）

○受験手続

◆申込用紙交付及び提出先 … 飯舘村役場 総務課 総務係

〒960-1892 飯舘村伊丹沢字伊丹沢580番地1

※郵送により申込用紙を請求する場合：封筒の表に「大学卒程度試験申込用紙請求」と朱書きし、120円切手を貼った自分宛ての返信用封筒(角形2号)を同封してください。

※郵送により申込用紙を提出する場合：封筒の表に「大学卒程度試験申込」と朱書きし、82円切手を貼った自分宛ての封筒を同封してください。

○受付期間 … 6月23日(金)まで

平日 午前8時30分～午後5時

※郵送による申し込みは

6月21日(水)まで(当日消印有効)

問 総務課総務係(本庁 ☎ 0244-42-1611)



## 長泥行政区の復興について 関係機関と話し合い続く



いかに復興を進めるか話し合いは今後も続きます

5月14日、村役場で、長泥行政区の今後を話し合う会議が開かれました。行政区からは役員をはじめ住民が出席し、国・県・村との話し合いに臨みました。国は、帰還困難区域については、復興予算を活用して拠点エリアの除染と整備を行う方針で検討しています。住民からは「将来的には拠点以外の除染も行ってほしい」「復興計画についてさらに話し合いたい」など意見が述べられました。今後、長泥行政区では、今回示された内容を住民で話し合い、方針を決めていく予定です。

## 「おかえりなさい」補助金 交付式を行いました

5月1日、村役場で、「おかえりなさい」補助金交付式が行われました。これは、避難先を退去して帰村した世帯に、引っ越し費用として一律20万円を補助するもので、世帯の一部が帰村する場合も対象です。式では菅野村長が、いち早く申請を行った4世帯に補助金を手渡し、「長い避難生活ご苦労様でした。6年間の重みで引っ越しも大変ですね」とねぎらいました。出席した皆さんは「少しぐらい不便でも帰りがかった」「終の棲家は飯館と決めていた」と話し笑顔を見せていました。



菅野村長が4世帯の一人ひとりに交付を行いました  
補助金の詳細は [問](#) 住民課住民係 ☎0244-42-1618

## 学校等再開整備事業の 安全祈願祭が行われました



発注元として関係者に感謝を伝える菅野村長

幼稚園・保育所の機能を併せ持つ「認定こども園」、一貫教育を行う小・中学校などを整備する「学校等再開整備事業」、スポーツ公園の機能を拡充して整備する「スポーツ公園整備事業」の安全祈願祭が、5月15日に現地で行われました。発注元としてあいさつした菅野村長は、関係者に感謝を伝え、「多様なアプローチで教育内容を充実させ、心の教育にも力を注ぐ。子育て世代への支援も大切にしたい」と、ハード・ソフトの両面で教育環境づくりに最善を尽くすと決意を表明しました。

## 村の元気を渋谷で発信！ 多くの支援に支えられて

村は、5月4日、渋谷公園通フラワーフェスティバル(東京都)に出展し、特産品を販売しました。ブースの一角では、小林将男さん(関沢)が千葉県で育てる牛を使った「までい牛ソーセージ」も焼きながら販売。小林さんと交流する大学生も販売を手伝いました。前日には、渋谷公園通商店街振興組合が、相馬農業高校(南相馬市)の生徒と共に、「までい」の石碑がある同公園通の「福島花壇」にペゴニアを植栽。花の苗を配り、村の花き栽培を応援する募金活動も行っていただきました。



どぶろくや加工食品、手芸品を販売して村をPR

## 交通安全指導隊が 村内での活動を本格化



ハンドプレートを手にする指導隊の皆さん

5月15日、村の交通指導員などで作る「交通安全指導隊」が、交流センター「ふれ愛館」に集まりました。この日はあいにくの雨模様で、「シートベルト！」「速度注意」といったメッセージを手で街頭で安全運転を呼びかける「ハンドプレート作戦」は見送られ、今後の活動についての話し合いが行われました。復興事業が進む村内の交通量は大幅に増加しており、避難指示解除に伴い村民の通行も増えてきています。交通事故防止に一人ひとりが意識を高めていきましょう。

## 総合健診を7年ぶりに 村内会場で実施しました

今年の総合健診は、福島市・伊達市・相馬市・南相馬市といった避難先の会場に加えて、7年ぶりに村内でも実施しました。村内では、5月13日・14日に、いいいて活性化センター「いちばん館」を会場に、総合健診を実施。2日間で、約500人が受診しました。受診者が集中したため、待ち時間は長くなりましたが、久しぶりに再会した人同士の談笑する声が、待ち合いスペースでにぎやかに響いていました。同会場では、希望者の内部被ばく検査も、当日受け付けで実施しました。



総合健診の村内実施を多くの人が利用しました



輝くビーズを一つずつ貼り美しい絵を仕上げます

吉井田赤十字奉仕団の支援による手芸教室が、集会所で開催されました。この教室は11回目の開催で、同奉仕団の加藤和子委員長は「楽しみに来ていただけるので、やりがいがあります」と笑顔を見せました。講師の手ほどきを受け、この日は下絵をビーズで飾る「ビーズデコール」に、約20人が挑戦。制作を楽しんだ後には、住民手作りの昼食を、参加者全員で囲みました。



繊細な作業に集中しました。達成感がありますね

吉倉公務員宿舎



国見上野台  
応急仮設住宅



柏餅づくりのコツを学生に伝えつつ楽しく共同作業



交流に感謝する住民から手作り小物のプレゼント



ゆかいな  
しあわせカフェ  
永井川



伊達東  
応急仮設住宅



手順を相談しながら約300個の柏餅を作ります



ランチは「あびす庵」で。懐かしい味に思わず笑顔



復元のエピソードを聞きながらオオカミ絵を鑑賞

活動を重ねて親交を深めるメンバーの皆さん。今回は15人で村内の視察研修へ。山ツツジ咲く大火山、交流センター「ふれ愛館」、整備中の深谷復興拠点、あいの沢、山津見神社などをバスで回りました。「いい所を見せてもらい観光地に来たようだったよ」「山津見神社のオオカミ絵を知人とまた見に来たい」「懐かしかったな」。再発見の多い一日となったようです。

伊達東応急仮設住宅の自治会では、毎年この時期に柏餅づくりを行っています。今年は23人の女性たちが、伊達東地区交流館に集まり、4つの班に分かれて作業を開始。「近所や親戚に配ったよね」「人より早くと」「生懸命仕事したわ」など柏餅の思い出を語りながら、約300個を完成させました。手作りの季節の味は、今年も全ての入居世帯に届けられました。



一つひとつをていねいに仕上げて成形作業を完了

# 入札結果をお知らせします

入札日／3月30日（単位：円）

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
相談支援（訪問活動支援）業務	23,814,000円	(株)トーネット	平成30年3月下旬
コミュニティ形成事業業務	2,052,000円	飯館村社会福祉協議会	平成30年3月下旬
飯館村高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画策定業務	3,974,400円	(株)ぎょうせい 東北支社	平成30年3月下旬
宿泊体験館きこり管理運営業務	46,567,146円	飯館楽園(株)	平成30年3月下旬
仮設直売所「なごみ」運営事業業務	12,048,000円	飯館村直売所連絡協議会	平成30年3月下旬
食品放射性物質測定業務	15,876,000円	(株)トーネット	平成30年3月下旬
飲料水安全対策工事発注者支援業務	17,355,600円	(一財)ふくしま市町村支援機構	平成30年3月下旬
飯館村簡易水道事業 水道料金システム業務	18,500,40円	(株)福島県中央計算センター	平成30年3月下旬
飯館村簡易水道事業 施設維持管理（浄水管理）業務	4,968,000円	理水化学(株)仙台支店	平成30年3月下旬
飯館村簡易水道事業 施設維持管理（日常管理）業務	1,836,000円	長谷川設備	平成30年3月下旬
飯館村簡易水道事業 水質検査及び保菌検査業務	5,400,000円	福島県環境検査センター(株)	平成30年3月下旬
飯館村農業集落排水事業 処理施設維持管理業務	7,020,000円	福島県土地改良事業団体連合会	平成30年3月下旬
福島市内応急仮設住宅浄化槽保守点検業務	6,728,400円	日東産業(株)	平成30年3月下旬
伊達東応急仮設住宅浄化槽保守点検業務	1,944,000円	協同組合県北地区浄化槽管理協会	平成30年3月下旬
相馬市内応急仮設住宅浄化槽保守点検業務	2,916,000円	相双環境管理事業協同組合	平成30年3月下旬
一時帰宅支援業務	28,474,200円	(株)桜交通	平成30年3月下旬
一時帰宅用トイレ清掃業務	2,744,280円	(株)東武 相双支店	平成29年8月下旬
避難者生活環境支援業務	16,740,000円	(株)トーネット	平成30年3月下旬
仮設住宅団地での支援業務	7,705,800円	(株)トーネット	平成30年3月下旬
交流センター定期清掃業務	442,800円	(有)藤野商事	平成30年3月下旬



▲5月のさわやかな空の下、村内各所で田植えが行われました

村内の大部分の避難指示が解除されて初めての春。村内で7年ぶりに、販売を目的とした米の作付けが行われました。

田植えを行った田村文夫さん（二枚橋・須萱）は「やっと田植えができる。時間をかけてやっていきたい」と話していました。

次号の広報いたてでは、村・県・農協が連携している小菊実証栽培についてお知らせします。

農業に関するお問い合わせや相談は、復興対策課 政係 ☎0244(42)1621までお寄せください。

## 農家の春、戻ってきています



## 5月の村の動きと主なできごと

- 1日・飯館村「おかえりなさい」補助金 交付式（村役場本庁）
- 2日・中学校エリア・スポーツ公園建築工事第1回合同打ち合わせ（村役場本庁）
- ・仮設住宅・公的宿舎等管理人会議（飯野支所）
- 8日・宿泊体験館「きこり」宿泊営業再開 内覧会（宿泊体験館「きこり」）
- 10日・第6回臨時議会（村役場本庁議場）
- ・飯館村鳥獣被害対策実施隊出発式（村役場本庁）
- ・総合健診（相馬大野台応急仮設住宅集会所）
- 11日・総合健診（南相馬市・サンライフ南相馬）
- 12日・総合健診（伊達市・伊達東地区交流館）
- 13・14日・総合健診（いたて活性化センターいちばん館）
- 14日・大火山ツツジ自然公園散策ツアー（宿泊体験館「きこり」）
- ・吉野正芳復興大臣 来村（村役場本庁）
- ・いたて村の道の駅「までい館」農産物出品説明会（交流センター「ふれ愛館」）
- 15日・学校等再開整備事業・スポーツ公園整備事業 安全祈願祭（飯館中学校敷地内）
- 17日・総合健診（松川第一応急仮設住宅集会所）
- 18日・新生ふくしま復興推進相双地方本部合同会議（村役場本庁）
- 18・19・21日・総合健診（福島市・ウイル福島）
- 20日・高橋スギノさん 百歳賀寿（松塚地区自宅）
- 23日・第5回農業委員会定例総会（村役場本庁議場）
- 24・26日・村議会常任委員会合同行政調査（宮崎県高原町・鹿児島県肝付町）
- 25日・定例教育委員会（村役場本庁）
- 29日・第1回学校運営協議会（飯館中学校）
- 30日・第1回教育課程編成委員会（草野・飯樋・白石小学校）
- 31日・第1回総合教育会議（いたて活性化センター「いちばん館」）
- ・固定資産評価審査委員会（村役場本庁）

● 鳴原 良友さん (長泥)



平成22年から長泥行政区長。避難の中も行政区の活動を継続し記録誌の発行にも取り組みました。自治会長を務める吉倉公務員宿舎の前で。

長泥には結構跡取りがいたんだ。消防団や野球チームでよく集まったよ。野球はユニホームを作って、朝早くから百姓ぶん投げてやりたりしたなあ。

そして、よく働いたと思うよ。共同作業や田植えなどは「結」で行った。人手をもらい、昼はおふかしを持って歩いて、真つ暗になるまでやった。村では何を食べてもうまかった。ウドの新芽、ミョウガの天ぷら、キノコや野菜だって、どうしてあんなにうまかったんだろう。ここ(避難先)では味わえないんだ。もう一度行きあいたいよ。あ

なうちにやりたいと思う。震災があつて、何もかも失つて、忙しかった。忙しい大変だと、勉強したり働いたりしている、それが生きているということなんだ。生きていく、そのことに素直に感謝できるようになった。

正直なところ、長泥が置いていかれるような、忘れられてしまふような気がしている。

時間が経てば経つほど、どんなに戻りたくても、戻れなくなる。百姓も、難しくなる。前は用事がなくても帰っていたが、今は目的がないと行かなくなった。あと5年かかると聞いて、ふるさとを恋しいと思う気持ちの薄れていくのが怖くなった。

それでも、投げることも逃げすることもできない。長泥を、ぼつこしたくないから。今の長泥が小さく弱くなることは仕方ない。でも、逃げたくはないんだ。

地区の施設を作るとなると、後の維持管理まで考えなくてはならないが、年に数回は、皆で保全活動などをして、酒を飲みながら泊まれる場所はほしいと思う。それは来てくれる人との交流の場所にもなるだろう。地区の盆踊りも、俺の夢だしね。

長泥には長泥の思いや考えがある。国や村にも、言わなきゃならないことは言う。だけど、相手の話も聞く。一生懸命やっているのは同じなんだと信じて話す。嘘もこかない。地区もずっと、皆でやってきた。これからも、皆の考えを聞いて決めていきたい。そしてその後が、本当の勝負になるんだと思っている。

心も自分も大切に。

村民の皆さんからの相談に、堀先生がお答えします

おしえてくんちえ! 堀先生

相談 「もっとがんばらなくて」と自分で自分を追い込んでしまって、息苦しさを感じてしまいます。

堀先生

「自分に厳しい」人は、周囲の人から尊敬されます。不平不満を口にせずに、黙々と自分のやるべきことをやっている人がいるからこそ、世の中が成り立っているのです。でも、震災後の飯館村のように、状況が容易でない場合には、自分への厳しさを割り引いて考えてもよいでしょう。「慣れないことに取り組まねばならないこと」も多かったはず。その場合、自分や自分の周囲のことを物足りなく感じる時もあると思います。でも、普段とは違う状況では、普通に過ごしてただけでもものすごいことだと、自分を認めていくことが、とても大切です。



精神科医 堀有伸先生  
ほりメンタルクリニック院長

「心の健康相談」お問い合わせは 健康福祉課健康係 (いちばん館内) ☎0244-42-1638まで

こころのぽけっと

「幸せのタネ」まき

飯館村にもやつのことで、田植えの姿が見られるようになりまし。田を耕し、水を張り、タネをまき、実りの秋を迎え、私たちの努力が報われていくことになりました。「タネまき」は何も田や畑だけとは限りません。私たちの「体」や「行為」や「口」でもタネまきが出来るとは「一生懸命、練習する」「笑顔で接してみる」「きれいに部屋を片付ける」などは体でタネをまくということになります。「いい挨拶をする」「お礼の言葉を使う」「相手の長所をほめる」などは口のタネまきでもあります。「思いやりの気持ちをもつ」「感謝の心を忘れない」などは心のタネまきになるはず。田や畑以外にいろんなタネまきがあつていいはず。そうすると、私たちは日々、いろんなタネまきが出来るといふことになります。一生懸命、タネをまいても思ったとおりにならない場合もあるかもしれません。でも、今、芽が出なくともタネをまいてささえれば、いざれ必ず実を結ぶと思うんです。まかぬタネは絶対に生えないからです。そう考えると無駄になる努力も苦労も何一つないと言つていいのではないのでしょうか。ということもあつて、今回、村の「ゆるキャラ」は「イイタネちゃん」に決まりました。「イイタネちゃん」のお披露目は「いいいたて村の道の駅までい館」の竣工の8月11日になる予定です。乞うご期待ですが、これからみんなで「イイタネちゃん」と一緒に「幸せのタネ」を村内外にまいていきたいものですね。

平成29年5月18日 飯館村長 菅野 典雄



誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
三坂 真白くん	雅俊・佳子	白石
高野 大和くん	修一・梓	大久保・外内
佐藤 羽紀ちゃん	明宏・瑛美	伊丹沢

すくすくと元気に育ってね



結婚おめでとう

氏名	出身地
佐藤 雄我	二枚橋・須萱
橋本 愛	二本松市
金杉 達也	飯樋町
佐藤 郁花	前田・八和木

いつまでもお幸せに



おくやみ

氏名	年齢	行政区
細川 マツ	103	上飯樋
齋藤 幸一	86	宮内
菅野 長喜	88	比曾
三浦 俊朗	84	白石

ご冥福をお祈り申し上げます

(4月18日から5月20日までに届け出のあったものを掲載)  
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

(平成29年4月30日現在)		4月1日~30日までの人口動態	
人口	今月 (前月比)	◆◆人口動態◆◆	
男	2984人 (+6)	転入	11人
女	3016人 (-19)	転出	20人
計	6000人 (-13)	出生	5人
世帯数	1802戸 (+5)	死亡	10人
			(住民基本台帳人口)

低学年のキュートな競技  
「いいたて村のハメハメハ大王」



気合をこめて  
高学年が率いる応援合戦

中学年は忍者修行！



真っ向勝負！「全校綱引き」  
の負けられない戦い



高学年は120m、中学年は100m、低学年は80mを力いっぱい駆け抜けました



5学年は国際理解の学びを生かして  
「世界の言葉でこんにちは！」

フォトストーリー 

# いいたてっ子運動会

5月20日、夏本番を思わせる青空の下、草野・飯樋・白石小学校の「いいたてっ子運動会」が、福島市飯野町の飯館中学校校庭で、行われました。児童は、応援や競技に、持てる力をフルに発揮して大活躍！観覧するご家族の皆さんにも、親子競技や世代別の競技に、楽しくご参加いただきました。工夫いっぱいプログラムは、時に熱く、時に和やかに、繰り広げられました。

中学生が熱い応援で運動会を盛り上げてくれました



6学年の個人競技  
「それは先生」  
先生と息を合わせて



「神旗争奪戦」  
中高学年が騎馬で  
神旗を追いました



チームワークで勝負！  
高学年の「川渡り」

# HOPES

ホープス セカンド  
2nd

原発事故の影響による村内の作付け制限が解除され、実に7年ぶりとなる田植えが、5月10日、須萱地区で行われました。制限解除後初めての田植えを行ったのは、高橋松一さん。補助事業を活用して購入した新しい田植え機に乗り、県が開発したうるち米「里山のつぶ」の種もみを直播しました。昨年度は、実証作付けにも参加し、その手応え

## 6年前の村に戻りたい

高橋松一さん  
(二枚橋・須萱)



避難後、村の公用バスの運転手を務めてきた高橋さん。地区の農業復興組合で行う保全活動などにも、率先して関わってきました。



須萱地区で行われた、制限解除後初めての田植えの様子です。新しい田植え機を巧みに転回させながら、作業を見守る関係者に笑顔を見せる高橋さん。

をもって、出荷する食用米の作付けを始めることにしたのです。「やっぱり田植え機に乗るのはいいなあ。本当に気持ちがいい」と笑顔を見せました。

高橋さんは、避難先で介護サービスなどを利用している家族のことを考えて、リフォームした自宅には戻らず、しばらくは避難先から通って、水田の管理を行います。「朝早く来るんだよ。やるのがたたくさあるからね」。

公用バスでは、おどけた会話で乗客を笑わせることが得意な高橋さんですが、ふるさとの再生には人一倍真剣な思いを持っています。「震災前は牛も飼っていた。避難のために手放す時の、牛たちのあのみじめな姿を思い出すと、俺はもう飼えないかな」と思う。だけど米づくりは、震災前の村に二歩でも戻りたいという気持ちでやるんだ。飯館の米はおいしいねと言ってもらえるよう、時間をかけて土地を戻していくよ」。

### ＜編集後記＞

●「土地を耕すことは、詩を書くのと同じくらい尊い」とアメリカの教育者は言ったそうです。5月、新緑あふれる村内で待ち望んでいた田植えがはじまりました。農家の皆さんは、「やっと、農業ができる」「土地をほったらかしには出来ないよ」と決意を含んだ笑顔を見せてくれます。「静かに田んぼやっから、取材に来るなよ笑」とも言われますが、いやいや、村広報にも微力ながら役を担わせてくださいます。(木幡)

●お店の人とお客様、支援に来てくださる人と応援を受け取る人：今月もいろいろな出会いの場面におじゃまさせていただきました。お聞きしてみても初めて分かることは、心の中で、深くうなずいたり、すごくうれしくなったり、泣きたくなるほど感動したり…。いろいろなことを教えていただける、広報の役得ですね。(星)



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。